

— 特集 —

大規模災害に強い

芦屋をめざして

問い合わせ 防災安全課 ☎38・2093

大津波・土砂災害の被災地から学ぶ

9月24日(土)保健福祉センターで「災害に強いコミュニティ作りのためのシンポジウム」を開催しました。

東日本大震災で大津波にのみ込まれた経験を持つ石巻市。昨年の集中豪雨により土石流により住宅が押しつぶされた広島市安佐南区、両地域から復旧・復興の第一線でご活躍されているかたを講師にお招きし、「災害に強いコミュニティのために何が必要か」について皆さんと一緒に考えました。



災害に強いコミュニティ作りのためのシンポジウム

災害に強いコミュニティ作りを目指すために必要なこと

- ① 平時からの地域との交流が災害時での協力体制につながる。
- ② 具体的に地域支援者を決め、日中でも支援ができる仕組みが必要
- ③ 地域で活動できるかたがまだまだ埋もれているので、日頃から若い世代も含めた幅広い年齢層に対し、地域のイベントを周知できるような手段の構築

自助・共助・公助という言葉にとらわれず、行政も地域も若い世代も含め、垣根のない支援ができるよう、地域一丸となって災害に備える必要性があることを確認しました。

南海トラフ地震に備える

今後30年以内に70%の確率で起きると想定されている「南海トラフ地震」では、最悪のケースでマグニチュード9級、震度7の巨大な揺れが想定されています。
市では、最大震度6弱の揺れが想定され、地震による津波の高さは、最大3.7m。到達まで約11分と想定されています。

避難経路を複数持つ

南海トラフ地震等の大規模災害における大津波からの避難方法として、国道43号以北に避難する水平



垂直避難訓練の様子

避難行動要支援者に対する取り組み

避難を推奨しています。しかし、災害はいつ起こるか分かりません。避難に時間がかかる場合、また緊急の避難を要する場合などでは、強固な建物の3階以上に避難する垂直避難も避難方法のひとつになります。
市の発行するハザードマップを確認し、津波一時避難施設を避難経路にいて、垂直避難にも対応できる避難経路を確認しましょう。

東日本大震災における死亡者の約6割が65歳以上の高齢者でした。また、障がいのあるかたの死亡率は、約2割にのぼりました。こうした教訓を踏まえ、平成25年6月の災害対策基本法の改正では避難行動要支援

避難行動要支援者

- ・ 65歳以上の一人暮らしのかた
- ・ 65歳以上のみの世帯のかた
- ・ 昼間高齢者のみのかた
- ・ 認知症のかた
- ・ 身体障害者手帳をお持ちのかた
- ・ 療育手帳をお持ちのかた
- ・ 精神障害者保健福祉手帳をお持ちのかた
- ・ 要介護認定を受けているかた
- ・ 難病のかた

緊急地震速報の訓練に参加しましょう！

「全国瞬時警報システム(Jアラート)」を通じた緊急地震速報訓練の一環として屋外スピーカーなどから市内全域に緊急地震速報の訓練放送を行います。

■日時 11月4日(金)午前10時ごろ ■場所 市内全域

※当日は屋外スピーカー・戸別受信機および緊急告知ラジオから、放送が流れますのでご了承ください。

～緊急地震速報を聞いたら、どうすればいいの？～

周りの人に声をかけながら周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保することが基本です。屋外スピーカー・戸別受信機および緊急告知ラジオからの放送を合図に自分の身を守るための行動として「シェイクアウト訓練」を行いましょう。

シェイクアウト訓練とは？

大地震を想定し①まず低く②頭を守り③動かない、の順に身を守る行動。家庭や会社など、いざというときの安全行動を確認する訓練です。



防災安全課 入山 和之

みんなで参加しよう！

11月13日(日)
午前9時～正午

平成28年度 芦屋市防災総合訓練 兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練



防災安全課 藤田 進

1 午前9時に南海トラフ地震が発生、大津波警報の発令を想定
3分後に緊急速報メール(エリアメール)の発信※マナーモードでも、音が鳴りますのでご注意ください。

2 市内全域でのシェイクアウト訓練



3 あしや防災ネット・防災行政無線・緊急告知ラジオ等で水平避難訓練を呼びかけ
国道43号以南のかたを対象に呼びかけます。国道43号以北を目指します。
水平避難をしながら、市内の津波一時避難施設に立ち寄りスタンプを3つ集めよう
※精道小学校にて記念品をお渡しします。
※精道小学校運動場で、防災啓発の展示ブース・起震車・炊き出し訓練があります。

国道43号以南の小学校と津波一時避難施設では、自主防災組織等による避難行動要支援者との避難訓練を想定し、3階まで上がる垂直避難訓練を行います。